

# 平成30年度愛別町歳入歳出予算総括表

(単位：千円・%)

| 会計名  | 本年度予算       | 前年度予算         | 比較        | 増減率       |           |       |
|------|-------------|---------------|-----------|-----------|-----------|-------|
| 一般会計 | 3,157,000   | 3,391,000     | △ 234,000 | △ 6.9     |           |       |
| 特別会計 | 国民健康保険      | 442,823       | 547,638   | △ 104,815 | △ 19.1    |       |
|      | 国民健康保険診療所事業 | 137,049       | 33,882    | 103,167   | 304.5     |       |
|      | 後期高齢者医療     | 52,524        | 47,997    | 4,527     | 9.4       |       |
|      | 介護保険事業      | 537,839       | 505,302   | 32,537    | 6.4       |       |
|      | 公共下水道事業     | 270,449       | 185,983   | 84,466    | 45.4      |       |
|      | 小計          | 1,440,684     | 1,320,802 | 119,882   | 9.1       |       |
|      | 企業会計        | 簡易水道事業(収益的収支) | 148,719   | 153,310   | △ 4,591   | △ 3.0 |
|      |             | 簡易水道事業(資本的収支) | 275,904   | 265,280   | 10,624    | 4.0   |
|      |             | 小計            | 424,623   | 418,590   | 6,033     | 1.4   |
|      |             | 合計            | 5,022,307 | 5,130,392 | △ 108,085 | △ 2.1 |

## ■ 予算編成方針

愛別町は、平成28年度決算において、実質収支では165,940千円の黒字となっており、また、財政健全化法に基づき公表が義務付けられた4つの財政指標についても、実質公債費比率が5.9%（前年度比△2.2%）将来負担比率が17.0%（前年度比5.8%）と、いずれも国が定めた早期健全化基準の範囲内ではあるものの、これまでの国の政策である地方交付税の増額等による標準財政規模の拡大が大きな要因であると言えます。

近年の地方交付税については、「算定人口の減少や町道の減少により、実質的な減額推移となっており、今後の増額は見込めません。また、多様化する住民要望に対応するための行政サービスの充実、財政健全化の指標には現れないような公共施設やインフラの老朽化による将来の町財政への影響を考慮すると、当町の財政状況は厳しい状況にあります。今後も財政の持続可能な町づくりを進めていきます。

平成30年度においては、「第10次愛別町振興計画」の4年目であることから、基本テーマの『ふれ愛と活力豊かな、夢のある愛別づくり』の総仕上げに向け、これまでの行財政改革による成果を継承しながらも、効果的かつ効率的に、さらなる将来の愛別づくりの実践を反映させられる予算編成を行いました。

